

# よもぎた

- 玉松拝み石・記念碑除幕式から……2～3
- 村民体育祭から……4～5
- 游まつり／村民野球大会から……6
- 川柳北緯41°／成人式から……7
- 牧場まつりから……8
- 戦没者慰霊祭／敬老会から……9
- 特別寄稿“蓮田村の皆さんへ”……10
- 保健コーナー……11
- 蓮田村民号……12
- 名課からお知らせ……13～14
- 行事予定／み～つけた……15
- 戸籍の窓口／上水道整備事業始まる……16



9/10デュアスロンin  
よもぎた

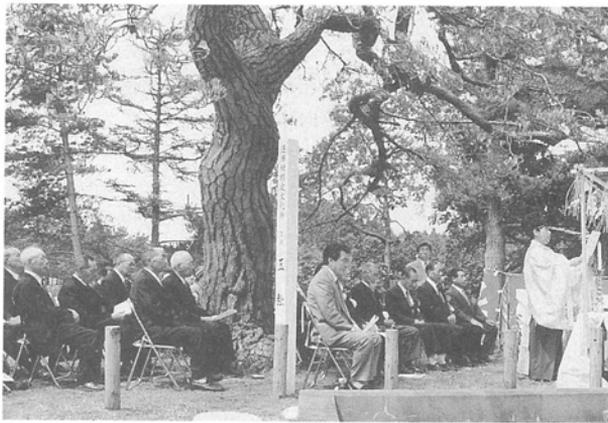
## 限界に挑戦 “鉄人” 201人！

9.  
10月  
1995

秋のいちじるしさは空の碧をつんざいて横にながれた白い雲だりんりんとかなしいしずかな雲だ”  
詩人・八木重吉がうたった秋の雲を、正々、確認できる今日この頃である。  
二十四節気は「寒露」十月八日頃で、気候が寒く、露が冷たい時期。  
「霜降」十月二十三日頃で、初めて霜の降る時期とある。ともあれ、十月は最も秋らしさを感じる月である。九月は残暑もあるが、十月は天地の間に清冽の気のみなざる。豊作を喜び、「天高く馬肥ゆる候」と健啖ぶりを発揮するもよい。「体育の日」に因み、健康な汗を流すもよい。定めなき秋窓に変化の多い雲を眺め、心と秋の空とと世俗を嘆ずるもよい。  
「秋思」の情々、しばし「人生」を思う高邁さを持ちあわせる「ゆとり」があればなおよい。

「戦後五十年を記念して三」

# 玉松拝み石及び記念碑除幕式



蓬田村勲章褒章受章者の会（坂本孫九郎会長）は、七月二十八日（金）玉松台場に建立した玉松拝み石及び記念碑の除幕式を行いました。

除幕式には勲章褒章受章者の会員の他工事関係者四十名が参列。神主による神事では参列者が次々に玉串を奉奠しました。

玉松拝み石は、名勝「玉松」を正しい位置から觀賞するもので、この位置からは玉松の幹が玉の形になっていることを知ることができます。また、記念碑は戦後五十年を記念するもので、石碑には「松は語る」と記されています。

除幕式の後、会場を農業者トレーニングセンターに移動し祝賀会が行われ、完成を祝うとともに関係者の労苦をねぎらいました。



# 総合優勝は中沢自治会!

第37回

# 村民体育祭



つなひき2年連続1位 高根自治会



七月三十日(日)、「つよい心、つよい身体」をスローガンに自治会対抗、第三十七回村民体育祭が村総合運動場において開催されました。

午前八時四十五分、花火の合図とともに交通安全協会賞のかかった入場行進が始まり、各自治会は堂々と力強く行進しました。

好天に恵まれたこの日、各自治会選手は十九種目の競技

に挑み、応援のテントからは盛んに熱い声援が飛びかかっていました。

地域の名誉をかけて熱戦を繰り上げた結果、幼児リレーや消防団リレーで高得点を得た中沢チームが見事、総合優勝に輝きました。

## 主な成績

### ▼総合の部

- 一位 中沢(73点)
- 二位 広瀬(70点)
- 三位 郷沢(69点)

### ▼入場行進

- 一位 中沢
- 二位 阿弥陀川
- 三位 宮本

### ▼砲丸投げ(男子)

- 一位 福田幸正(郷沢) 9 m 20
- 二位 坂本豊昭(長科) 9 m 10
- 三位 三上範夫(中沢) 8 m 77

### ▼砲丸投げ(女子)

- 一位 久慈優子(広瀬) 8 m 58
- 二位 大宮美保子(郷沢) 6 m 99



子どもも一生懸命、少年リレー



消火も早い走っても早い消防団リレー



練習の成果が見事レクリエーションダンス



総合優勝は中沢自治会

▼自治会対抗リレー  
一位 高根  
二位 瀬辺地  
三位 中沢

▼自治会対抗綱引き  
一位 高根  
二位 蓬田  
三位 広瀬

▼少年綱引き  
一位 長科  
二位 中沢  
三位 郷沢

▼高齢者玉入れ  
一位 長科  
二位 広瀬  
三位 郷沢

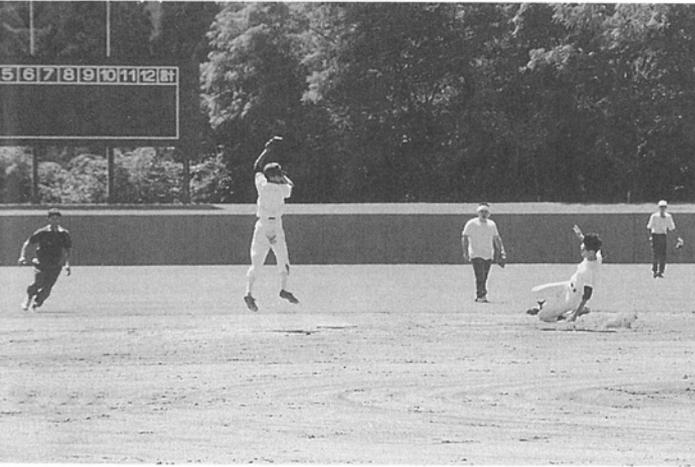
▼千歳女子(中学生以上)  
一位 森倫子(阿弥陀川)  
二位 八幡三子(高根)  
三位 久慈育代(広瀬)

▼千五百歳男子(中学生以上)  
一位 久慈勝造(高根)  
二位 大宮裕之(郷沢)  
三位 細谷佳久(蓬田)

▼走り幅跳び(男子)  
一位 坂本大貴(長科)  
二位 吉田智範(中沢)  
三位 久慈勝造(高根)  
三位 稲葉ひとみ(高根) 6 m 51

# 村民野球大会

優勝 中沢チーム



八月十三日(日)、恒例の村民野球大会(主催村体育協会「八幡敏雄会長」)がスポーツガーデン野球場と中学校グラウンドにおいて開催され六つの自治会チームが参加しました。

曇り空で開催が危ぶまれましたが開会式の午前七時四十分には青空も見え始めました。開会式では、昨年優勝の阿弥陀川チームから優勝杯が返還された後、八幡敏雄会長が「全試合を野球場での声があります。日程的に無理があるとともに白熱した好ゲームを期待します」とあいさつを述べました。

試合時間は一時間三十分。各チームの顔ぶれは、中学生から高校生、青年、壮年の世代に渡り、どのチームも声を掛け合い、励まし合いながら試合をしました。

決勝戦は昨年、一昨年と同じ阿弥陀川チームと中沢チームで争われ、特に阿弥陀川チームには三年連続優勝がかかる大事な試合となりました。試合は両チームともミスもなく引き締まった試合となり、熱戦の末、七対二で中沢チームが優勝しました。



# 玉松

## 海まつり'95



八月六日(日)、玉松海水浴場において、玉松海まつり'95が開催され多くの海水浴客やイベント参加者で賑わいました。

海まつりは盛り沢山のプログラムが組み込まれていましたが、あいにくの強風で波も高く海でのゲームは中止となりました。

主催者(村観光協会坂本祐一会長)のあいさつの後、さっそく宝さがしが行われ、砂浜にあらかじめ埋められている数字が書きこまれたカード

を大勢の人が探しました。探して当てる人には、沢山の景品が贈られました。引き続き、砂浜で発砲スチロールの板の上で尻相撲する「ドンケツ大会」や、景品が当たる「抽選会」、二人一組で水の入った風船を割れないようにキヤッチする「爆弾ゲーム」、「どろんこ幅跳び大会」などが行われ、大好評でした。

今年の海水浴場は年々施設が整備されるおかげで連日多くの海水浴客が訪れ賑わっていました。



# 新成人 おめでとう！

早起きの  
湯上りの  
返事した  
い気分で  
もう一杯

笑顔がやる気  
気分しだいで  
声でもわかる  
子の気分

あふれる  
色気出る

久勝清  
美乃栄

気分よく  
車座の  
晩酌も  
内視鏡

飲んだ酒代  
一升びんから  
妻の気分で  
OKサインで

病む財布  
歌が出る  
量かわる  
五月晴

藤勝昭  
久子夫三

戦後最大級といわれた台  
風十三号を免れ、  
直ぐ来た十四号の影響も  
なし。  
出来秋楽しみだ！



新成人を祝う平成七年度、  
村成人式が八月十四日(月)  
村中央公民館において挙行さ  
れ、新成人四十七名(男二十  
名、女二十七名、対象者六十  
八名)が出席しました。  
式では、澤田年榮教育委員  
長が式辞を述べ、続いて、祝  
辞を八戸良次郎村長、津島鐵  
男村議会議長に続き、中学校  
の恩師である伊藤博彦(現蓬

中教諭)先生が述べました。  
伊藤先生は「最後の学年集會  
で思い出の品を持ち寄りタイ  
ムカプセルを作った思い出」  
や、「社会という『大海』にお  
いてしっかりと己の羅針盤を  
見すえ航海して下さい」と激  
励しました。  
これに対し、新成人の藤本  
正人さんが、「一つ一つの問題  
解決に向けて全力でぶつかっ  
ていく」、下山奈美子さんは  
「自分は他人のためになにが  
できるのか、ということを考え  
えることから出発したい」、  
坂本満さんが「日々の努力を  
惜しむことなく、村の発展に  
貢献していく」と新成人を代  
表して誓いのことばを述べま  
した。  
この後、村長から新成人一  
人一人に、記念品が手渡され  
ました。また、村選挙管理委  
員会からは「選挙啓発」用の  
オリジナルテレホンカードが  
プレゼントされました。  
最後に、「成人の誓い」を  
新成人代表の古川利恵子さん  
と成人全員で斉唱し成人式を  
閉じました。

# '95よもぎた

# 牧場まつり



第十回牧場まつりが八月二十七日村営牧場で開催され、村内外から約二千人が訪れ蓬田牛の味に舌鼓をうちました。八戸良次郎村長が「イベントの少ない我が村ですがそんな中でこの牧場まつりは最大のイベントです。大勢参加していただき感謝します。今後も蓬田牛として良質の肉牛生産に努めます」とあいさつ、坂本昭巳助役が開会を宣言、花火の号砲でオープンしました。

この日は朝から曇りがちのあいにくの天候でしたが、お昼近くには訪れる人も多くなり大型テントも満杯。特設ステージ前も、色とりどりのパラソルやテントが張りめぐら



され、家族連れや友人グループがコンロを囲み、網や鉄板でうまい蓬田牛を味わいました。

また、今回の祭りに協賛したアラスカ会館（青森市）では、テントを持ち込み「日頃お世話になっている方々へ恩返し」と、そば八百食と蓬田牛のモモ肉の丸焼きを約六百人に無料サービスした他、抽選で二十人にはヒレスステーキをその場で調理しプレゼント、大変喜ばれました。参加コーナーでは、牧場まつり恒例となった「桃太郎マト」をみつける宝探に約百人のチビッコ達が集合。斜面



に向かって一斉にスタートし、草地内に隠されているトマトを次々に捜し当て、トマトと引き替えに賞品が贈られました。このほか牛乳とビールの早飲み競争、親子牛体重当てクイズ、お楽しみ抽選会、またステージでは、ほろ酔い気分でカラオケや踊りの余興を楽しむなど多彩に繰り広げられました。

参加者は、眼下にむつ湾を見下ろし爽やかな自然の中で酒を酌み交わしたり、親子でボール遊びをしたりとふれあいを深め、広い牧場には歌声が響き渡り楽しい一日を過ごしました。

# 戦没者慰霊祭

## 終戦五十周年記念

村戦没者慰霊祭が、八月十日(金)、玉松台場において行われ、来賓及び遺族会員百三十名が参列しました。

午前十時三十分に国旗を掲揚した後、読経が唱えられ、その後、八戸良次郎村長が祭文を、坂本増吉村遺族会会長が祭詞を読み上げ、引き続き、追悼のこぼを県知事(代読)、県遺族連合会長、

陸上自衛隊第五普通科連隊長、津島鐵男村議会議長がそれぞれ述べました。

村内有志婦人による御詠歌が流れる中、参列者全員が焼香を行い、その後、八戸村長と坂本遺族会会長が参列者に対しあいさつを述べました。

引き続き、自衛隊第五普通科連隊ラッパ隊による演奏と銃剣道の演武が奉納された後、戦後五十周年を記念し玉松太鼓の演奏が行われました。



# 敬老会

## 長寿を祝う

### 村農業者トレーニングセンター

九月十四日(金)、長寿を祝う村敬老会が、農業者トレーニングセンターで開催され、お年寄りと関係者約四百人が出席しました。

八戸良次郎村長が「これからも健康に留意され、百歳を目標に長生きしてください」とあいさつ。九十七歳の坂本米作さんから十四人の長寿者に

顕彰状と花束を贈呈、九十歳の大宮金助さんに県知事顕彰状を伝達しました。このほか、八十八歳と婚姻六十年、五十年の健在夫婦も顕彰、また、七十七歳を迎えた三十四名の長寿者に安全杖を贈呈し、山館誠弘村社会福祉協議会会長の万歳三唱で式典を終了しました。



## 第四回

# 「これくらいなら大丈夫だろう」と考えるのはやめましょう



歩きたい！  
まずは、車イスから平行棒へ移る練習

前回からの続きです。  
トイレの改造を行ってから1ヶ月ほど経って、保健婦さんから電話がありました。その内容は、結局新しくしたトイレは使うことができず、また元のポータブルトイレを使っている、とのことでした。「そんなはずはない」と思いながら、2時間半かけて車でBさんの家へかけつけたところ、そこには私が描いた図面とはまったく違うトイレがありました。特に違うところは、私の図面では便器は出入口の方を向き、便器の前には1m以上の空間があり、手すりを利用して楽に立ち座りができるようにしてあったのに対して、実際のトイレは便器の

前面が壁の方に向き、しかも壁から30cmも離れていませんでした。これでは座るのも立つのも容易ではありません。健康な人でも大変です。障害の程度にもよりますが、一般に障害を持った人が楽に立ち上がるには、最低でも前方に60cm以上の空間が必要なのです。Bさんは最初の2、3日はがんばっていましたが、とうとうトイレで立ち座ることに疲れてしまったのでした。

このことは、「これくらいなら大丈夫だろう」という健康な人のおごった気持ちと大工さんの人間というものに対する知識の無さが招いた「大失敗」だと言えます。建物はそのほとんどを人間が使っています。まず家を建てるなら、人間の勉強から始めなければなりません。しかし、今の建築技術者に対する教育制度には人間について学ぶ教科はほとんどありません。これからは「いかにうまく家を建てられるか」ではなく「いかにそこに住む人にとって生活しやすい家か」を考えなければなりません。

また、私も直接大工さんと話をしなかったことを悔やみました。「せっかく息子が送ってくれた6万円が無駄になった」と泣くBさんと、「親戚の大工さんにやり直せ」ということはできない」と言う奥さんの間



(車イスに乗って初めてのリハビリ教室へ参加)

に座り、自治体からのわずかの家屋改造の助成金(5、6万円)制度の一般化と、障害者に関する知識のある建築技術者の養成を早急に行わなければならない、と実感させられた出来事でした。結局、大工さんが暇な時期になったら直してもらおうということになりましたが、ほんの「便器の向き」が障害を持った人やその家族に、これほど大きな影響を与えるものだとということを経験し、あらためて「家屋改造」というものの重要性がわかったのです。

(次号をお楽しみに！)

特別寄稿 (蓬田村の皆さんへ)

皆さんは今住んでいる自分の家に一生住めると思っていますか？

弘前大学医療技術短期大学部 金沢 善智

# 9月はガン制圧月間

## ●受けて安心ガン検診・学んで実行ガン予防●

### 「胃ガン検診を受けましょう」

毎年9月はガン征圧月間。青森県では胃の集団検診が始まって今年で三十年にあたるそうです。胃ガンはガンの中でも発見率が高く早期ガンでの発見率も高くなってきているので、毎年検診を受けていけば早期のうちに見つかるものが多く、早期で見つかるほど救命率が高くなる為、毎年受診することが望まれます。これまで、

村で行う胃ガン検診の時に一緒にやっているのが大腸ガン検診です。血便や肛門出血などは重要な大腸ガンの症状ですから、壮年期になったらトイレの際に、よく自分のウンチの様子を観察することを中心がけたいものです。痔を持っている人は、痔の出血と思いきや、痔の間隙にガンが進行していることもあり、定期的な外科や肛門科で診察を受けておくべきでしょう。大腸深部のガンの場合は、目で見てわかるよう

を過している方が何人もいます。各地区の保健協力員が皆さんの家を一軒ずつまわり受診をすすめても、毎年受ける人は毎年受け、受けない人は一度も受けないという受診者の固定化も問題となつていますが、毎年、なんらかのガンで亡くなっている人達は、村の検診を受けたことがなく自覚症状が出てきたから病院でももらつた時には、すでに手遅れだったという人も毎年み

られるようです。ですから、検診で見つけられるものは特に、今まで受診したことのない人ほど、ぜひ一度は検診を受けてほしいと思います。今年度の総合健診は、九月の八日間と来年一月の一日間各地区の公民館で行います。回覧板等で日程等確認し、保健協力員に受診申し込みをして下さい。また、今年度は、歯科健診も同時に行います。歯がある人も入れ歯を使って

う。年齢制限はなく誰でもみてもらえます。高根地区の皆さんには大変申し訳ありませんが、歯科医の診療の関係で高根会場では実施できませんので、広瀬会場で胃ガン検診を受けながら歯科健診も受けてもらうこととなりますので、ごりようし下さい。

### 「大腸ガン検診も受けましょう」

な血便は認められないことも多いので、便の潜血をチェックする大腸ガン検査が必要となります。

大腸ガン検診は、配布された合紙タイプの排便容器に、原則として2日分の便を薄くぬりのはすだけで終了します。普段便秘がちな人は2日続けて便をとることが難しいと思

保存し、2回目の便をとって下さい。便はごく薄くぬることが大事です。厚くぬると精度の高い検査ができない為に、検診センターの検査技師が水でうすめてぬりなおして検査しているのだそうです。ですのでよろしくお願いします。

ポリプの発見等もされていきますので、胃ガン検診とセットで受診することをすすめます。大腸ガンはできる部位によつては人工肛門が必要になるなど生活に障害をもたらす場合もあります。若い頃から、気軽にできる大腸ガン検診、あなたも毎年受けてみませんか。

いますので、一回目の便をとった後ビニール袋等に入れ冷凍保存（冷凍庫に入れるのはちょっとできないという人は発泡スチロールに氷を入れて

大腸ガン検診で便潜血検査が陽性となった場合は、専門の医療機関で、大腸内視鏡検査（カメラ）や注腸エックス線検査（腸にバリウムを注入してレントゲン撮影を行う検査）を行います。早期のうち

かにガンが発見されれば、ほぼ9割の人が助かります。又



# 最優秀賞!

ことぶき生活改善グループ

蓬田地区のことぶき生活改善グループが、地域特産品づくりや消費者交流活動などを実践し農村地域の活性化に尽力した功績と、今後の農業農村振興の模範として高く評価され、青森県知事から最優秀賞を受賞しました。また、同

グループは、青森県生活改善グループ連絡協議会長からも活動成果が農村地域の活性化を推進する上で模範なるとして表彰されました。ことぶき生活改善グループは三十一年前に結成されました。当時は何十人もいた会員が現在は七人になってしまいました。今回の受賞を契機にまたがんばると話していました。



## 蓬田村民号 くつろぎの旅

◇旅行期間 11月9日(木)～10日(金)

◇募集人員 120名

◇募集締切日 10月26日(木)

◇旅行代金 26,500円

◇集合場所 当日、蓬田村役場前に11:30分まで、お集り下さい。

月日	行程	食事	宿泊
11/9 (木)	蓬田役場 11:50 → 送迎バス → 蟹田駅 12:36 → 海峽7号 → 函館駅 14:49 → 貸切バス → 函館山眺望 → ホテル 17:00頃	一 昼 夜	湯川温泉 湯ノ川 プリンスホテル ☎0138-57-3911
11/10 (金)	ホテル 9:00頃 → 貸切バス → 元町公会堂 → 五島軒 (昼食)12:00 → 函館フリータイム → 函館駅集合 13:30 → 函館駅 13:58 → 海峽12号 → 蟹田駅 16:07 → 送迎バス → 蓬田役場 16:30頃	朝 昼 一	

☞輸送機関、天候等で変更になる場合もあります。 ☞お部屋は男女別部屋となります。

【添乗員同行】

XXXX ♪お申し込み、お問い合わせは XXXX

**主催** 東京都知事登録国内旅行業第2743号  
〒038 青森県青森市柳川1丁目1番1号  
国内旅行業務取扱主任者 安田 洋二  
**JR ひゅう プラザ青森** ☎0177-22-6679

**企画** **JR 蓬田駅**  
☎ 0174-27-2019

**協賛**

蓬田村役場  
☎ 0174-27-2111

JR 蓬田  
☎ 0174-27-3111

蓬田商工会・蓬田観光協会  
☎ 0174-27-2450

蓬田漁業組合  
☎ 0174-27-2006

蓬田村連合婦人会



# お知らせ

## 特設行政 相談所開設

村民のみなさんが毎日の暮らしの中で、行政の行う仕事についての苦情や要望意見等の相談に応じる特設行政相談所を左記のとおり開催します。

今回は、青森行政監察事務所から職員が特別に立ち会い相談に応じることになっていきます。

▽苦情を直接申し出にくい▽どこへ申し出たらよいかわからない▽苦情を申し出たがその処置に納得できない▽処置がまちがっているーなどの場合、気軽にご利用ください。相談内容については秘密を厳守しますのでご安心ください。なお、相談は無料です。

日時 平成七年十月二十一日(土)午前十時から午後四時まで

場所 蓬田村中央公民館

相談員 ◎蓬田村行政相談員

森 清秀  
◎青森行政監察事務所職員

問い合わせ先

蓬田村役場 総務課

## 蓬田村乳幼児医療費の給付が変わります

わが村では乳幼児の保健の向上に寄与することを目的に平成五年十月一日より乳幼児(〇歳児から一歳児)に対し医療費の給付をしています。平成七年十月一日より対象が拡大され、〇歳児から三歳児までの乳幼児が対象となります。主な改正は次のとおりです。

### 一、給付対象者

(現行) 〇歳児から一歳児(誕生日

の属する月の末日まで)

### (改正)

〇歳児から三歳児(誕生日の属する月の末日まで)

### 二、給付の内容

#### (現行)

〇歳児

(一)入院、通院時の保険適用分の自己負担額

(二)入院時の食事療養費

一歳児

(一)通院時の保険適用分の自己負担額

#### (改正)

〇歳児から三歳児とも

(一)入院、通院時の保険適用分の自己負担額

(二)入院時の食事療養費

三、給付の方法

今までと同じで次のとおり

国保加入の〇歳児

入院、通院の時、受給者証を窓口に表示するだけで保険適用分の支払いは要りません。

ただし、入院時食事療養費は支払いし、領収書を持参の上役場民生課に申請してください。保護者指定の口座に振り込みしますので申請の際、口座番号をお知らせください。

国保加入の一歳児から三歳児と社保加入の〇歳児から三

歳児

入院、通院とも支払いが必要。領収書を持参の上役場民生課に申請してください。保護者指定の口座に振り込みしますので申請の際、口座番号をお知らせください。

詳しいことは、役場民生課保健係までお問い合わせください。

## 「精神障害者の社会参加をすすめるための講演会」開催

・実施日 平成七年十一月十六日(木)午前十時～十五時  
・実施場所 青森市文化会館 四階 中会議室  
・内容 講演  
テーマ「精神障害者の社会参加をすすめるために」  
講師(財)北海道精神保健推進協会 理事長  
北海道アイケアセンター 所長 伊東 嘉弘  
なお当日「精神障害者が地域で安心して暮らすために」をテーマにシンポジストも開催します。

参加料 無料

## 自衛官募集案内



左記の種目について募集します

●防衛大学校生

●防衛医科大学校生

●看護学生

●受付期間

○防衛大学校生

七月九日(一八日)(月)～十月十六日(月)まで

○防衛医科大学校生

七月九日(一八日)(月)～十月十六日(月)まで

○看護学生

七月九日(一八日)(月)～十月二〇日(金)まで

■試験日

○防衛大学校生

(一次)十一月十一日(土)～十二日(日)

○防衛医科大学校生

(一次)十一月四日(土)～五日(日)

○看護学生

(一次)十月三十一日(火)

■応募資格

●防衛大学校生

●防衛医科大学校生

●看護学生

(一次)十月三十一日(火)

○防衛大学校生 ○防衛医科大学  
 大学校生 高等学校卒業生  
 (見込みの者を含む) 二十  
 一歳未満の男女  
 ○看護学生  
 高等学校卒業生(見込みの  
 者を含む) 二歳未満の女子

◎問い合わせ

○自衛隊青森地方連絡部

青森募集案内所

☎(三五)一七五一

○蓬田村役場総務課

☎〇一七四(二七)二二二一

## 時短奨励金制度 のご案内

中小企業の皆さんへ

労働時間短縮支援センター  
 青森県支部では、週四十時間  
 労働制が猶予されている労働  
 者三百人以下の中小企業の時  
 短を応援するために、省力化  
 投資等又は新たな雇入れを行  
 い週所定労働時間を短縮した  
 際に最高三七五万円の奨励金  
 を支給しています。

時短に取り組む中小企業事  
 業主さんは、積極的にご活用  
 ください。

(注)既に週四十時間労働制が

### ●支給額

短縮した1週間の 所定労働時間数	常時雇用する 労働者の数		
	1~30人	31~100人	101~300人
1時間以上2時間未満	25万円	75万円	150万円
2時間以上	50万円	150万円	300万円
3時間以上短縮し、かつ 週40時間を達成した場合	75万円	200万円	375万円

適用となっている金融業・  
 通信業等や、特例措置の対  
 象となっていない労働者が九  
 人以下の商業、映画・演劇  
 業、保険衛生業及び接客娯  
 楽業の事業場は支給対象に  
 なりませんのでご注意ください。

☆時短奨励金制度の詳しい内  
 容については、左記までお  
 問い合わせください。

労働時間短縮支援センター青  
 森県支部(青森県労働基準協  
 会連合会内)

〒〇三〇青森市青柳二丁目

二一六 労働基準会館

☎〇一七七(七七)四六八六

FAX〇一七七(七五)八一〇九

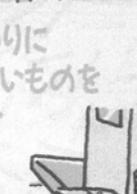
## 災害に備えて

火災編

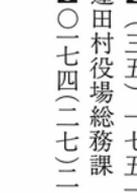
1 火を消すときは、  
ふらを揚げるときは、  
その場を離れない



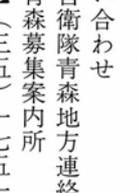
2 たばこ・  
たばこの投げ捨ては厳禁



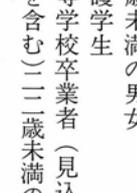
3 風の強いときに、  
たき火をしない



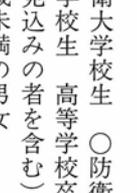
4 家のまわりに  
燃えやすいものを  
置かない



5 ツチやライターで  
子供を遊ばせない



6 風呂の空だきをしない



7 ストープに燃えやすいもの  
を近づけない



8 寝る前に  
必ず火元を確認する



9 年寄りの部屋は1階に



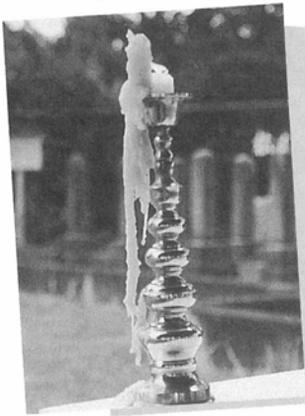
10 火の備えを万全に



# み〜つけた 93.94



9月19日、雷雨が村内を襲い、中でも郷沢地区には直径1.2センチ大の雹が雪のように積もっていた。



慰霊祭で灯したローソクのなだが、またまた（本誌平成四年九月号）変わった形になりました。きっと私達をマブラしているのでしょうか。



## 徳誠園生

### 玉松海水浴場清掃奉仕！

九月十一日（月）、徳誠園（青森市四戸橋）の園生三十三名が玉松海岸周辺のゴミ清掃と、駐車場側のトイレ掃除をしてくれました。  
集めたゴミは燃えるゴミと燃えないゴミに分けて処分するため園に持ち帰ってくれました。  
徳誠園では、このほか中沢駅の清掃を春と秋の二回実施しています。



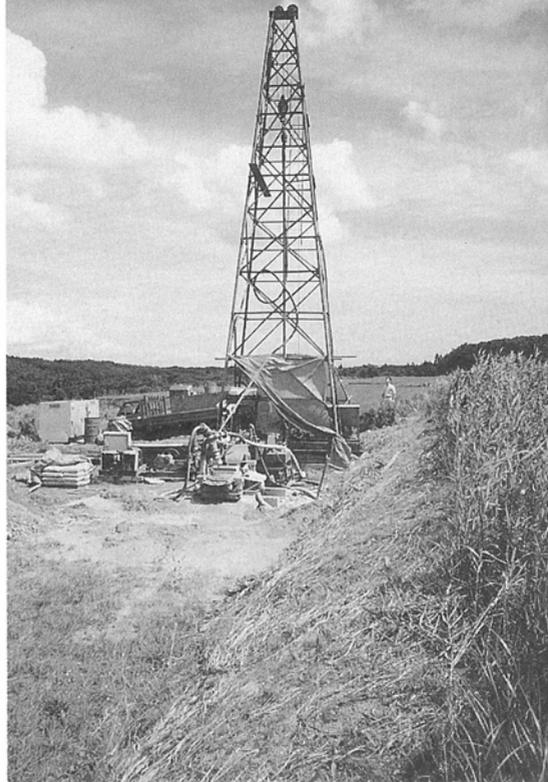
### 10月行事予定表

31	30	29	26	24	23	21	17	16	15	9	3	1	日	曜	行	事	担	当
火	月	日	木	火	月	土	火	月	日	月	火	日						
陶芸教室	書道教室	村グランドゴルフ大会	股脱健診	陶芸教室	書道教室	行政相談	健康まつり	陶芸教室	書道教室	日曜開館	書道教室	陶芸教室	日曜開館					
9時	13時30分		9時	9時	13時30分	10時〜16時	22日まで村トレセン	9時	13時30分		13時30分	9時						
中央公民館	中央公民館	体育協会	民生課	中央公民館	中央公民館	総務課	民生課	中央公民館	中央公民館	中央公民館	中央公民館	中央公民館	中央公民館					

## 村民祭は

11月3日（金）から  
11月4日（土）まで  
農業者トレーニングセンターで開催

# 上水道整備事業始まる



県内で上水道が整備されていないのは本村だけであります。

現在村内にある三十七の水道の内訳は登録されている簡易水道が二、小規模水道が十六、個人井戸が十九ありますが、その中には老朽化が進んでいるところもあります。

水道は住民の健康で文化的日常生活や産業経済を支える最も重要な基盤施設の一つであり、また恒久的施設であります。村の将来計画を見込んで

だ長期的展望に立った水道整備事業は最重要課題といえます。

村ではこういう状況を踏まえ、将来的にも安心して暮らせる安全な水を供給するため今年度より上水道整備事業に着手しました。

今年度は基本計画、電気探查、テストボーリングを実施来年度認可設計、九年度より工事着工、十三年度完成目指して進めております。

## 戸籍の窓



### 人口と総世帯 (8月31日現在)

総人口 3,858人  
男 1,846人  
女 2,012人  
世帯数 1,047世帯

### 7・8月受付分

#### お誕生おめでとうございます

- |      |            |    |
|------|------------|----|
| 田中一輝 | 弘 一<br>里 美 | 長男 |
| 倉内夏衣 | 義 幸<br>由紀子 | 長女 |
| 横内勇希 | 勝<br>美代子   | 長男 |
| 横内咲希 | 勝<br>美代子   | 長女 |

#### ご結婚おめでとうございます

- |               |               |
|---------------|---------------|
| (越田 達也 (広瀬)   | (坂本 あさ子 (中沢)  |
| (後藤 一二三 (平内町) | (高田 綾子 (郷沢)   |
| (山口 昭二 (中沢)   | (久慈 ひろみ (瀬辺地) |
| (川崎 憲二 (広瀬)   | (高田 恵美 (郷沢)   |
| (木戸 靖夫 (瀬辺地)  | (濱田 由佳子 (蓬田)  |

#### おくやみ申し上げます

- |                  |
|------------------|
| 川崎 光雄 (広瀬 65歳)   |
| 阿保 惣吉 (広瀬 80歳)   |
| 八戸 マメ (阿弥陀川 84歳) |

## 体力づくり強調月間 さわやかな 汗をかいた顔 いい笑顔

